



第1回 アメリカの定番デザート「アップルクリスプ」を作ろう！

日時：平成 30 年 6 月 24 日（日） 14：00～16：00

場所：香川県社会福祉総合センター6階 調理実習室

講師：アン・ヴィシェヴィアンスキ

参加者：18 人

講座詳細：



講座の前半は、“アップルクリスプから見えるアメリカの歴史”をテーマに、アンさんから講義がありました。「アップルパイ」はアメリカを代表するデザートのひとつですが、本来はイギリス人が入植時代に持ち込んだものです。今回とりあげた「アップルクリスプ」はアップルパイから派生したアメリカ独自のものです。今もりんごの収穫の季節や独立記念日に広く食べられています。独立記念日である 7 月 4 日には、人々はアメリカ独立のお祝いとして、国旗柄の服を着たり、花火をあげたりなどして、愛国心を育てています。アンさんは、自身の父親がメキシコからの移民であることもあり、生活の地としてアメリカを選んだ人々が、誇りあるアメリカ人としての自覚をもって生きている姿を身近に感じてきたようです。アメリカ人にとって、独立は大きな意味があり、自国を誇りに思っていることや、国民をあげてお祝いに参加していることがひしひしと伝わりました！

後半は、実際にみんなでアップルクリスプをつくりました。工程のレクチャーを受けながら、アップルクリスプにまつわる話をたくさん教えていただきました。「アメリカ人にはそれぞれ自分流のレシピがある」や「しっとりよりもサクサク好みの方が多い」など、アメリカ人のアンさんだからこそのお話がありました。アメリカ人の生活を垣間見ることができる、興味深いお話でした！

できあがったアップルクリスプは柔らかかりんご、カリカリのグラノーラ、冷たくクリーミーなアイスクリームの組み合わせがとってもおいしくて、みんな大満足でした！

参加者の声：

- ・新しい料理が知れてよかった。家でも家族につくりたい。
- ・身近な材料を使っていて、工程も簡単でよかった。
- ・参加者同士で交流できて楽しかった。
- ・知らなかったアメリカ文化に出会えた。





平成 30 年度国際理解講座～夏～

韓国人気ドラマ『太陽の末裔』のリアル版?! ミョンフンが語る韓国の兵役と若者事情

日時：6月29日(金)13:00-14:30 場所：アイパル香川中2階交流フロア
講師：張 明訓(チャン・ミョンフン) 参加者：29名

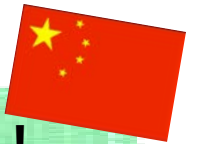
今年4月に国際交流員として香川に着任したばかりのミョンフンが最近の韓国の兵役や若者事情について動画や写真を見せたり、体験談等を交えたりしながら紹介しました。韓国の兵役に関する基本的な情報から、3年間兵役を経験したミョンフンだからこそ語ることができる兵役中の生活、勉強(大学の進級や資格取得について)、恋愛、お金事情等のお話は、初めて聞くような内容が多く、参加者からも驚きの声が上がっていました。

また、講座後半にはミョンフンが実際に毎朝行っていた「国軍徒手体操」にみんなで挑戦！日本のラジオ体操よりもハードな動きをミョンフンの掛け声に合わせて体験しました。その他にも兵役中に韓国の若者が好んで食べる韓国のお菓子を食ったり、韓国で有名なコーン茶を飲んだりと韓国を全身で体感できるひと時でした。

～参加者の声～

- ・現代の韓国の兵役事情がよく理解できた。
- ・実際に自分の体験をもとに画像も使って話してくれたのでよく分かった。
- ・とてもわかりやすく、韓国の軍隊の事情についても垣間見ることが出来て良かった。
- ・説明が楽しく、体操もおもしろかったです。





第 3 回 中国の家庭料理-「酿豆腐(にゃんどうふ)」を味わおう！

日時：平成 30 年 7 月 14 日（土） 10：00～12：00

場所：香川県社会福祉総合センター6 階 調理実習室

講師：黄 媛（こう・えん）

参加者：18 人

講座詳細：



講座のはじめに、黄さんから中国の食文化について紹介がありました。広大な中国では、地域ごとに独自の食文化があり、料理も様々に異なっているということをクイズに答えながら学びました。今回の取り上げた「**酿豆腐**」は、実は餃子に変化したものだそうです。昔、北部から南部に移り住んだ人々が、故郷を偲び、北部でよく食されている餃子をつくろうとした際、南部では餃子の皮の原料である小麦が手に入りにくかったため、豆腐で代用したことが**酿豆腐**誕生のきっかけとなったと言われています。料理の作り方だけでなく、この料理が生まれるきっかけやその地方の事情なども知ることができました。

紹介の後には、グループに分かれて調理に取りかかりました。使用された食材自体は日本でも一般的なもののばかりですが、**酿豆腐**を作る作業の中で、豆腐をくりぬき、ミンチ肉を豆腐に詰めるといった工程は日本人にとってはあまり馴染みがなく、苦労されている方も少なくありませんでした。しかし、最後には、いずれのグループでもおいしそうな**酿豆腐**が出来上がりました。メインディッシュの**酿豆腐**のほかにも、余った食材で作ったスープ、白ごはん、食事のときの定番のお茶「菊茶」も食卓に並び、豪華な食事が完成！おなかもいっぱいになり、本格的な味にも参加者のみなさんも大満足の様子でした！

参加者の声：

- ・本格的な味が楽しめました。
- ・中国の家庭料理を体験できて、とても楽しかったです。ヘルシーで美味しくいただきました。
- ・四大料理の説明が前説であり、参考になった。
- ・料理も作りやすくておいしくてよかったですが、それ以上に講師の方々やスタッフの皆さんとお話できたのが楽しかったです。



第4回 歌おう！踊ろう！カントリーミュージック！



日時：平成 30 年 7 月 20 日（金） 10：00～11：30

場所：香川県国際交流協会 中 2 階交流フロアー

講師：ジョナサン・マッカーリー

参加者：17 名

講座内容：

講座の冒頭には、カントリーミュージックの歴史や種類についての紹介がありました。ジョナサンの出身地テネシー州を含むアメリカ南部が発祥のカントリーミュージック。時代の流れとともにその種類は多様に分化しながら、アメリカ全土に広まっていったそうです。歌を聴いたり、動画を見たりしながらそれぞれの音楽の特徴や違いを学びました。

音楽について学んだあとは、カントリーミュージックに合わせて踊る「ラインダンス」を全員で挑戦しました。シンプルなステップの組み合わせからなるダンスですが、長い列になって全員で同じ動きをすることで、一体感が生まれました。

ダンスのあとは、ジョナサンと同じくアメリカ出身の国際交流員のアンも参加し、カントリーミュージックの代表曲ともいえる「カントリー・ロード」（英語版）を全員で歌いました。

講座の最後は、アメリカ南部でよく飲まれているお砂糖がたっぷり入った「スイートティー」を楽しみながらの交流タイム。とてもアットホームな雰囲気で行われていました。

～参加者の声～

- ・学校の音楽の授業では習わない、中身の濃い講座だった。
- ・フレンドリーな雰囲気がよかった。
- ・ダンスと歌がとても楽しかった。
- ・耳で知識を聞き、足でステップを踏み、口では歌い、全身フル回転の講座はとてもよかった。

